

秋元壽恵夫 あきもと 血清學者、醫學博士。明治四十一年二月十四日長
野縣生れ（一九〇一）。昭和十二年東京帝國大學醫學部卒業。長尾研究所
を経て日本血液研究所所長。

著譯書 『生きこむ反應―血清學史の一斷面』（昭和十八年十一月十五日
柏葉書院）、『若き日の軌跡―私の學生の頃・第一集』（合著・學生
書房編集部編、昭和二十二年四月二十日學生書房）、『ポール・ド・ク
ライプ著 『微生物の狩人』全二冊（訳、上・昭和五十五年十一月十七
日、下・十一月十六日岩波書店）『岩波文庫』）、『ローザ・ルクセンブ
ルク著 『獄中からの手紙』』（訳、昭和五十七年五月十七日岩波書店

『岩波文庫』）等。